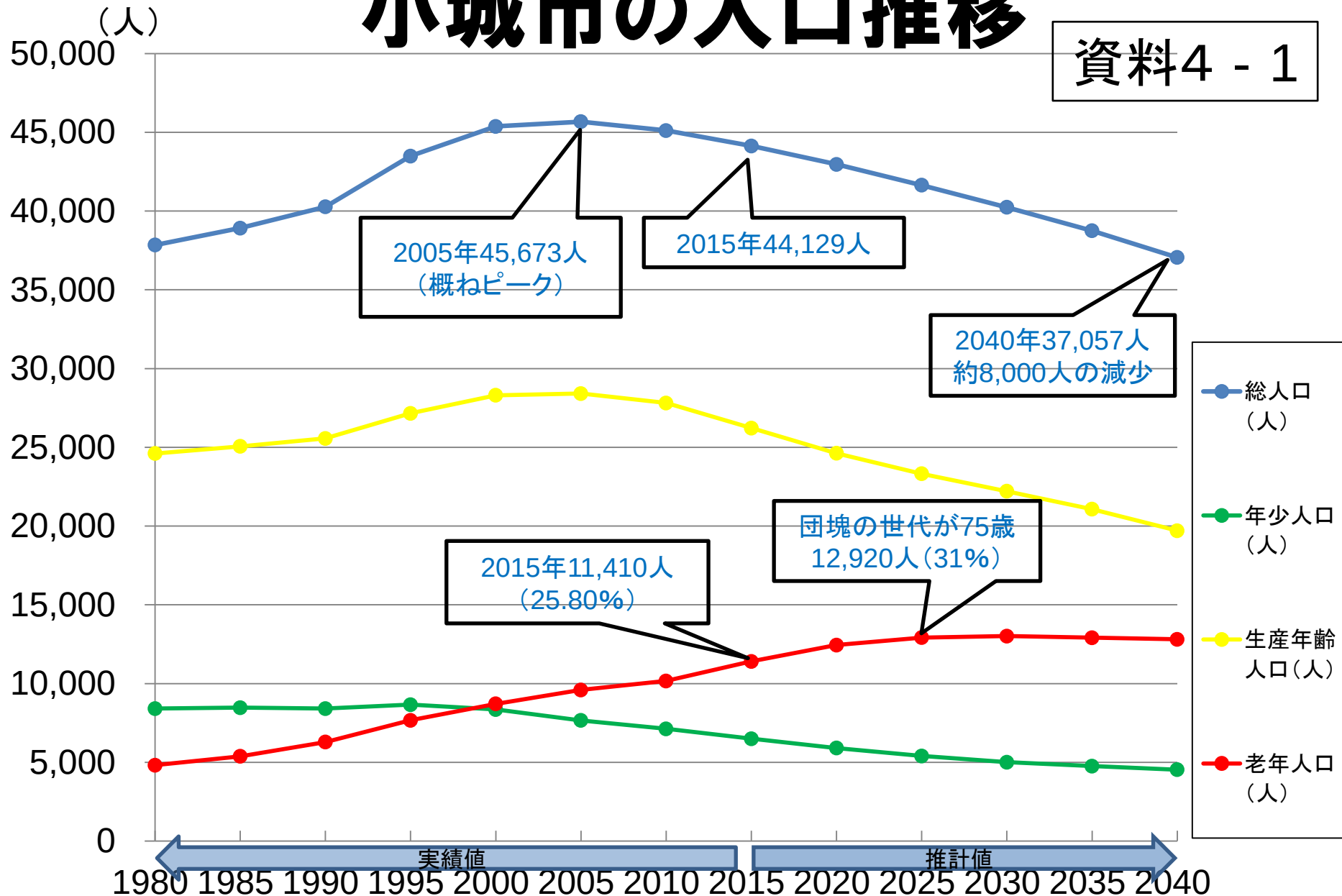


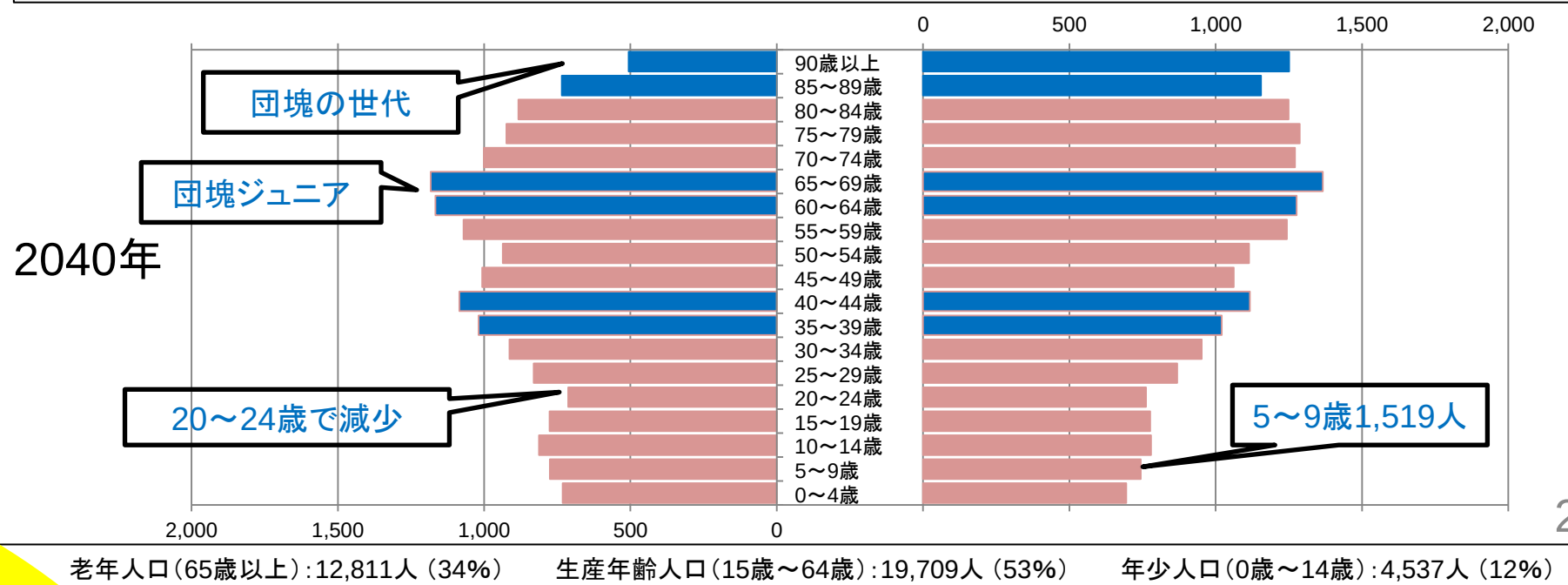
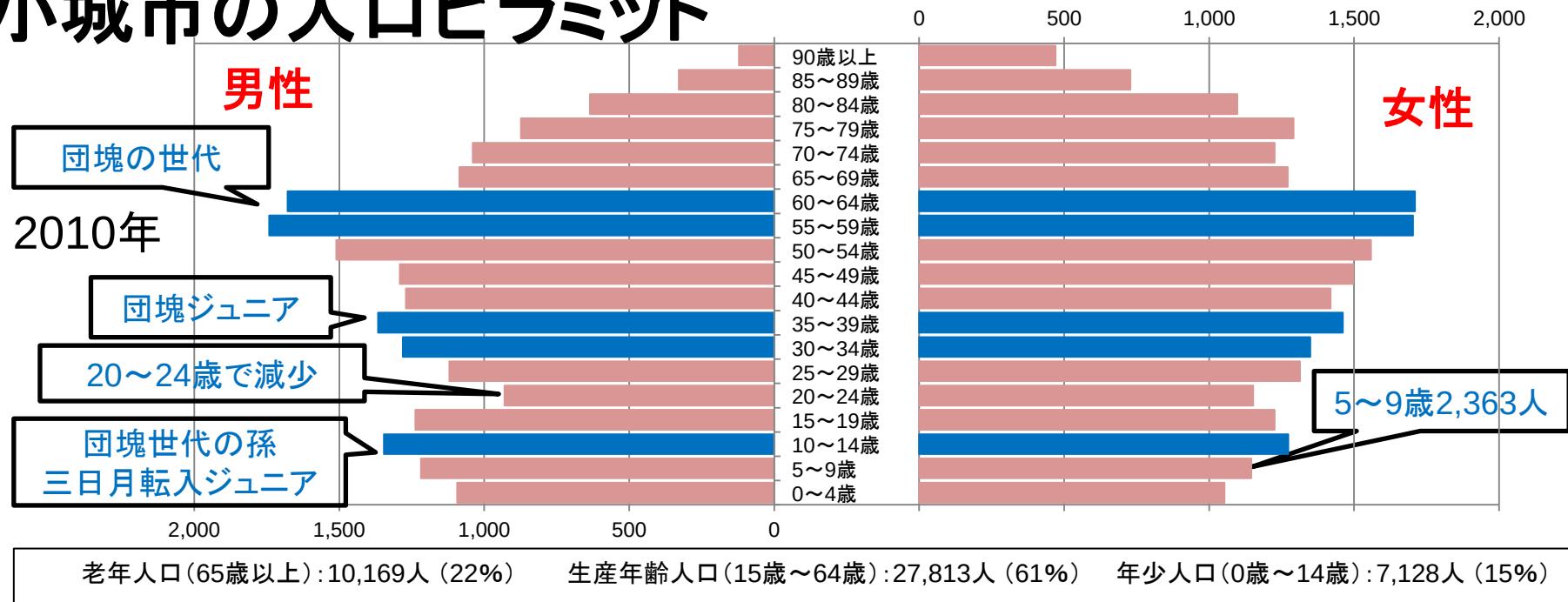
小城市の人口推移

資料4 - 1

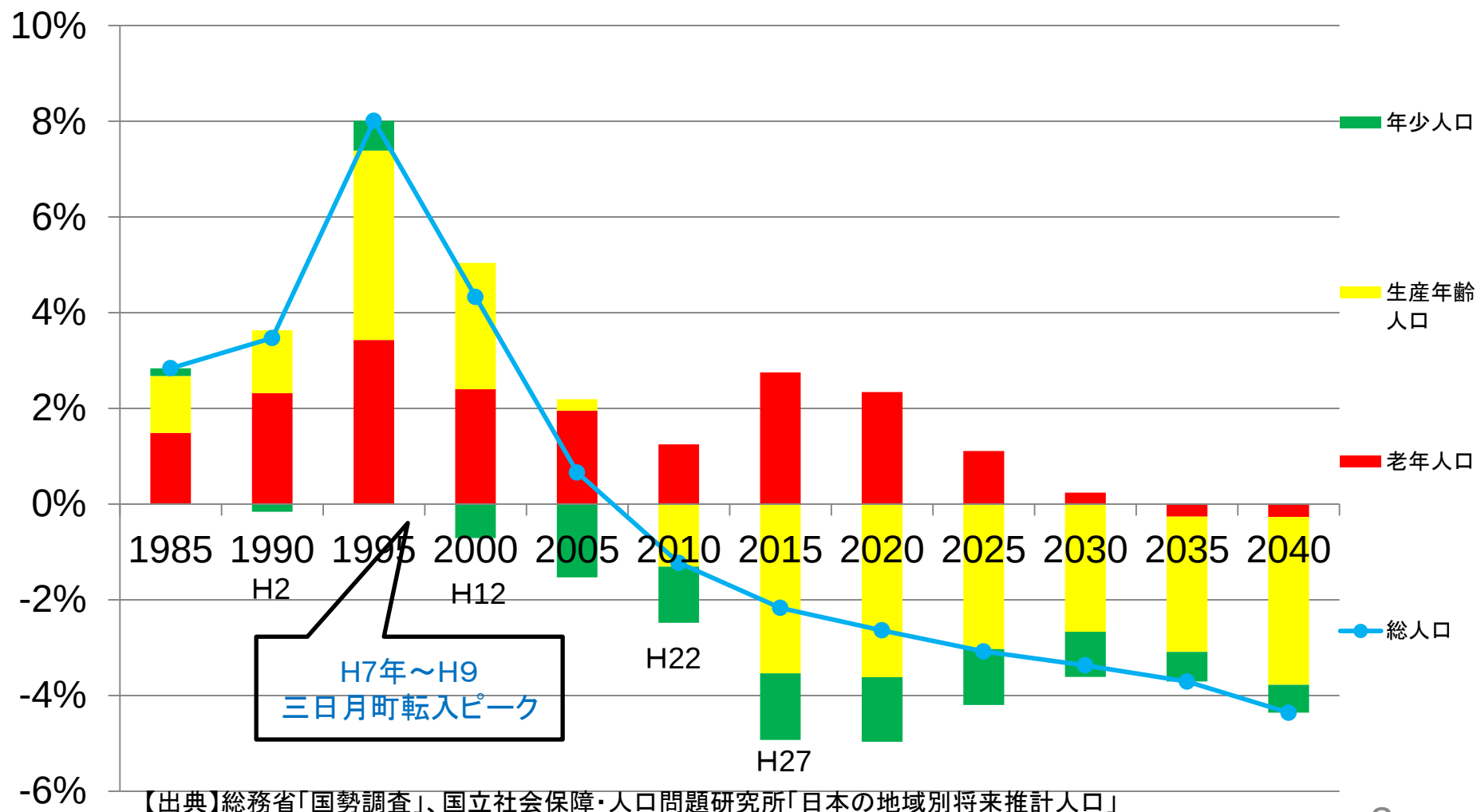


小城市の人口ピラミッド

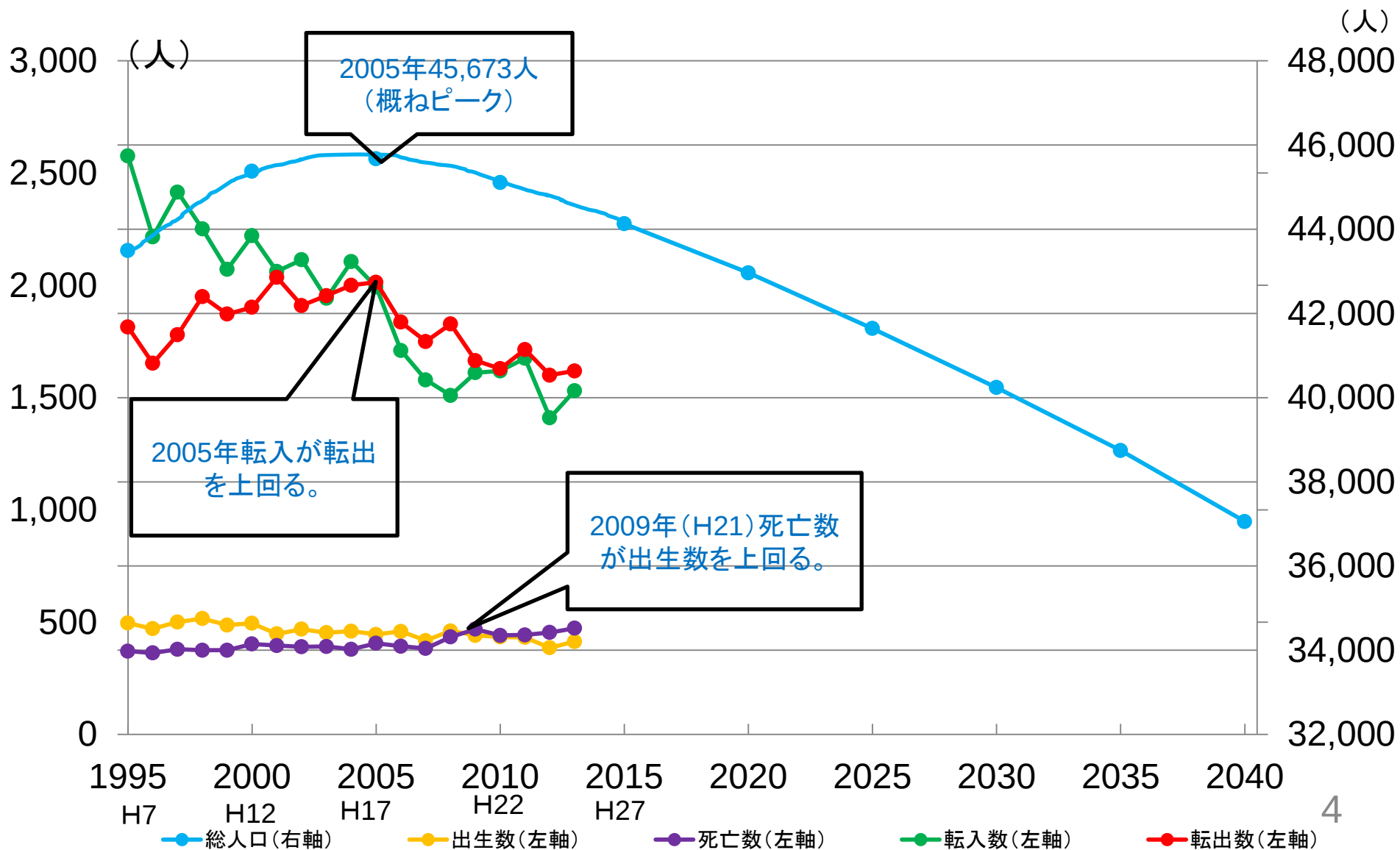
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



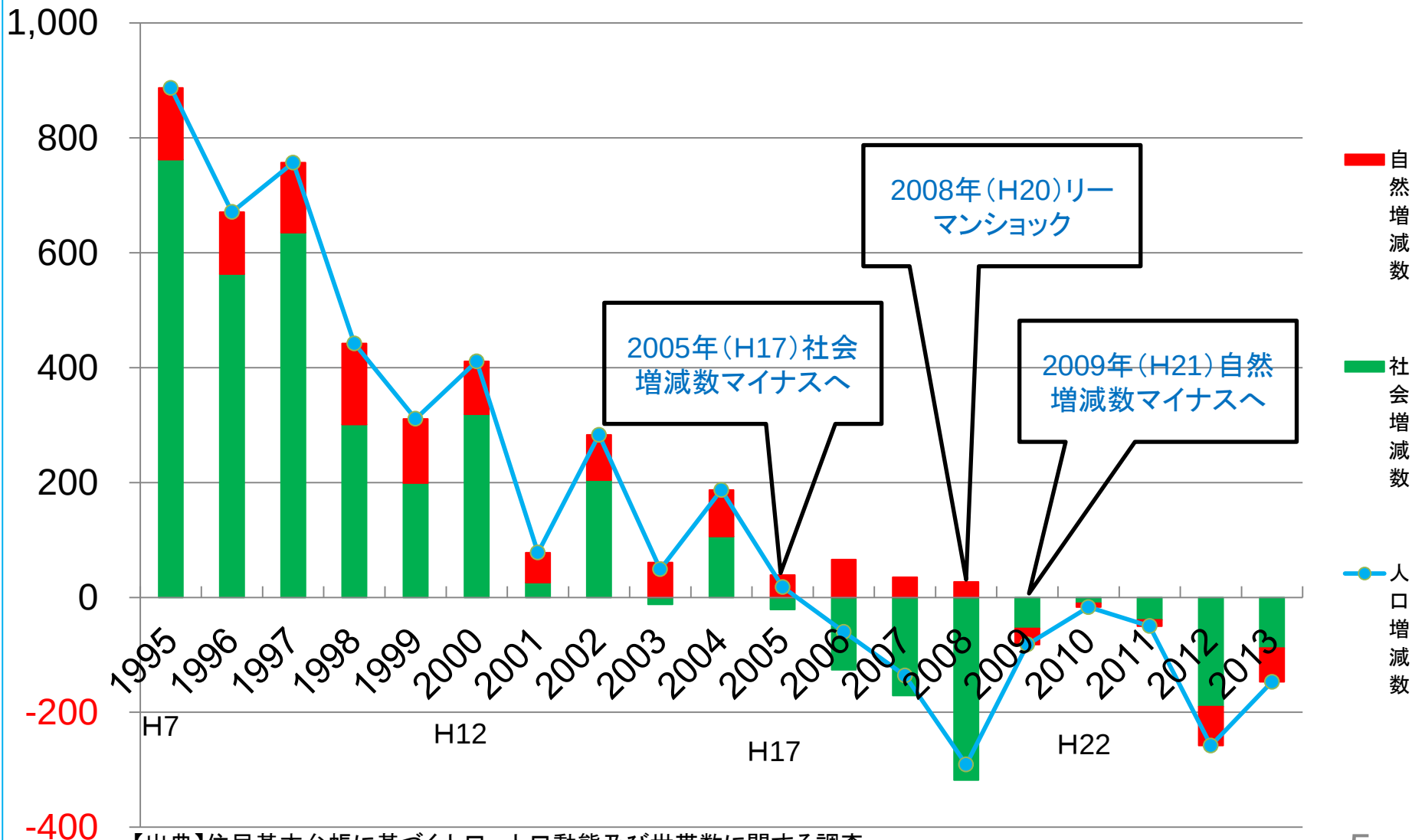
小城市の人口増減



小城市の出生数・死亡数 / 転入数・転出数

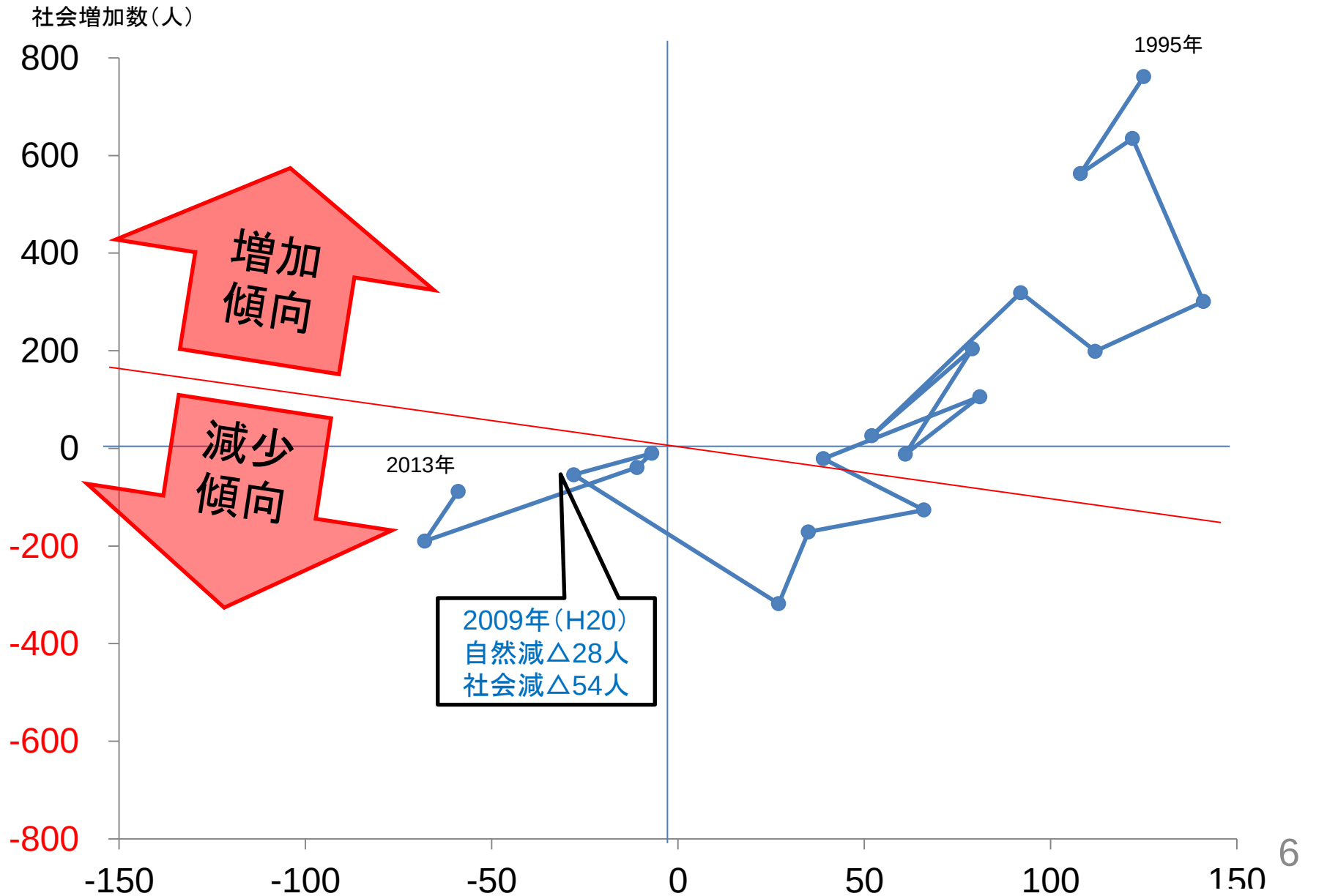


小都市の自然増減・社会増減の推移(折れ線)



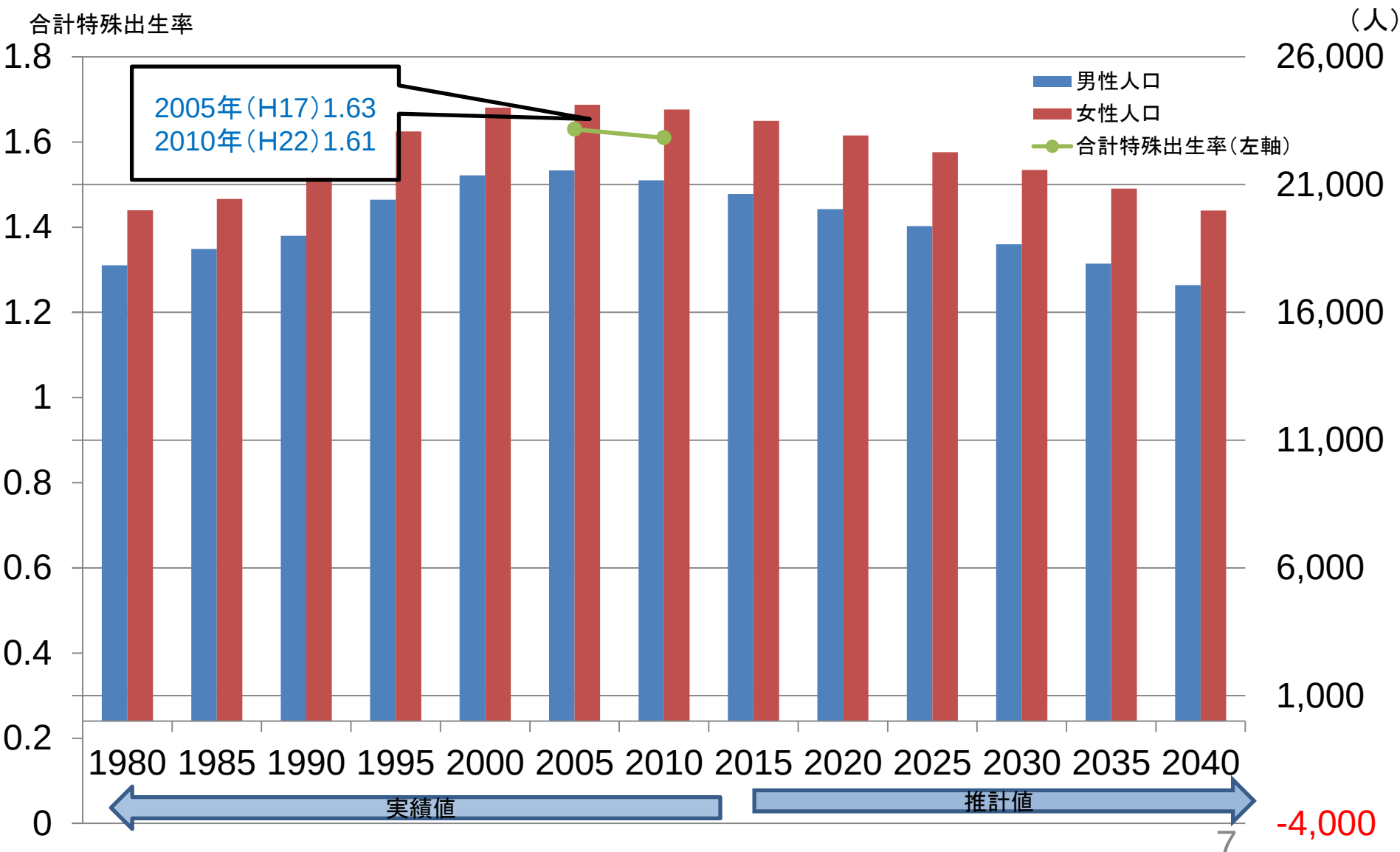
【出典】住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査

自然増減・社会増減の推移(散布図)



【出典】住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査

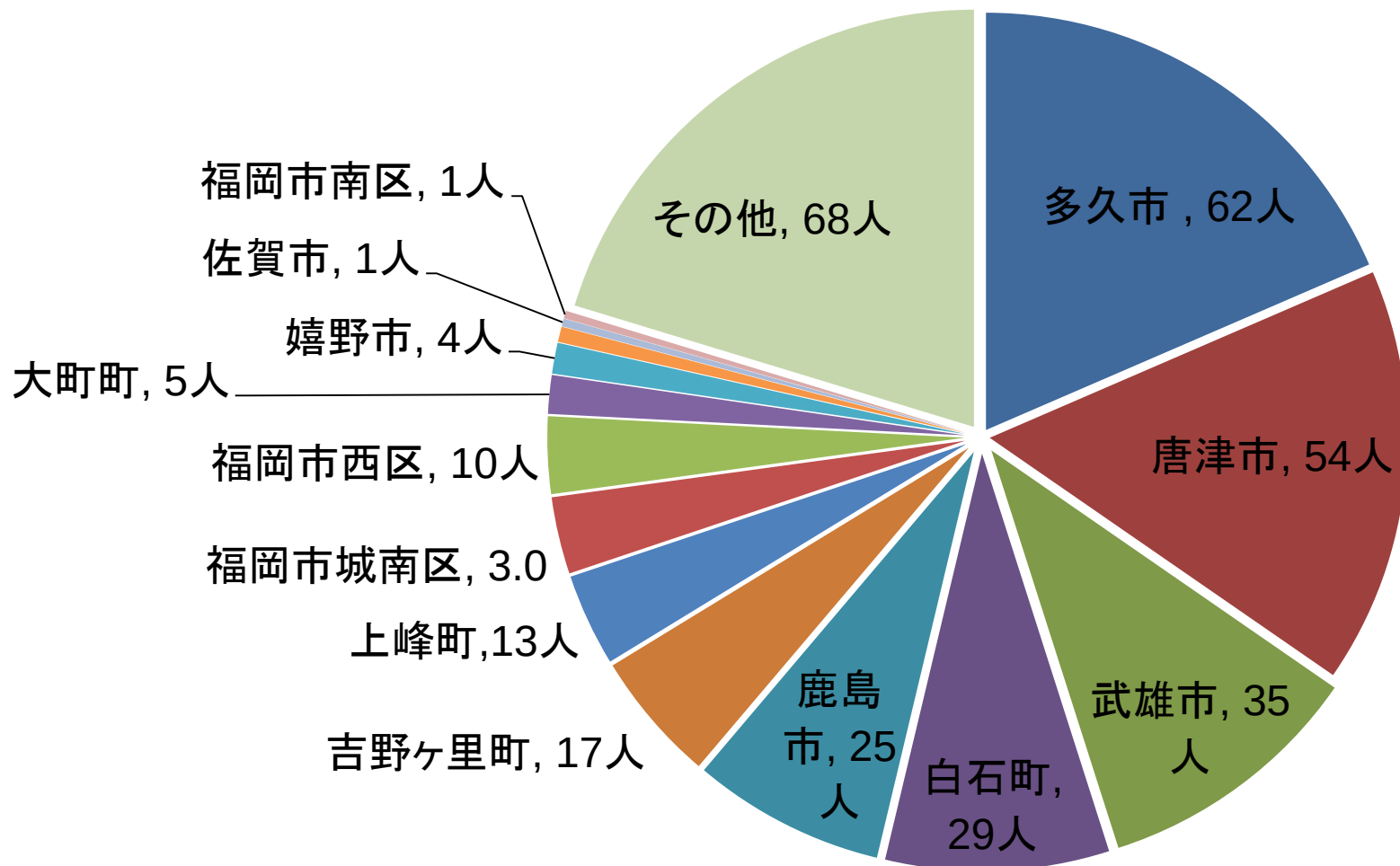
小城市の合計特殊出生率と人口推移



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

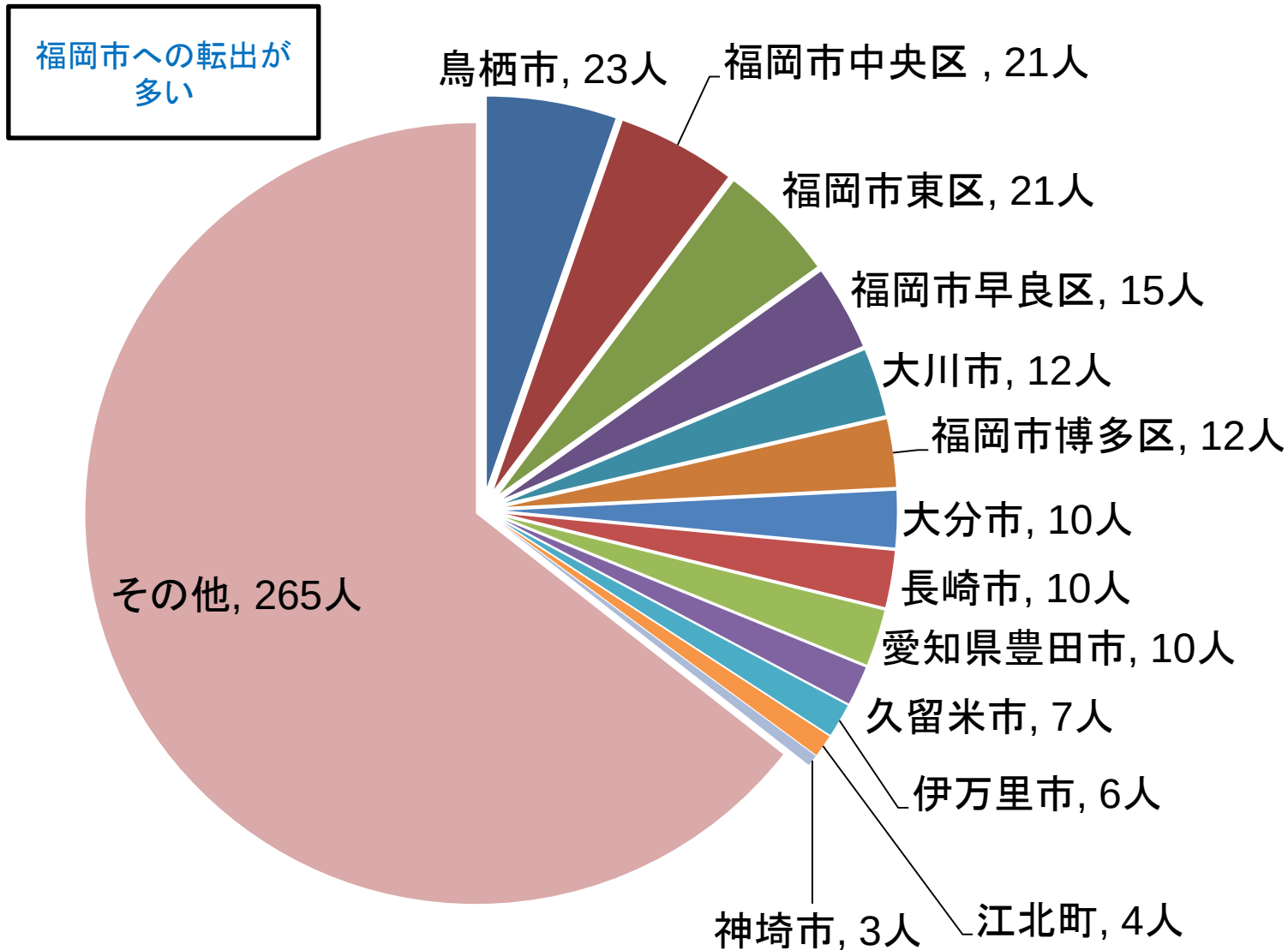
佐賀県小城市 From-to分析(定住人口)2014年

転入超過数内訳



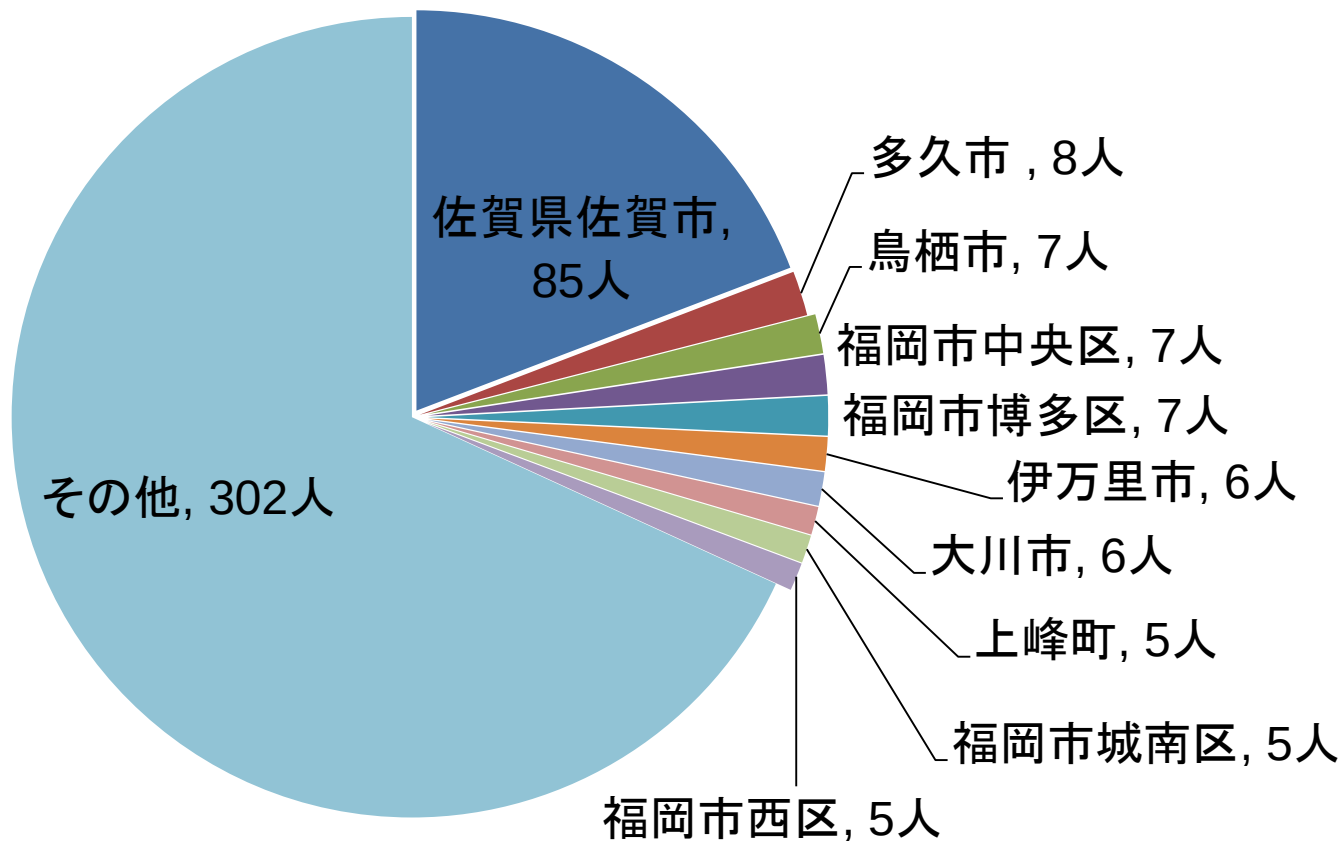
佐賀県小城市 From-to分析(定住人口)2014年

転出超過数内訳



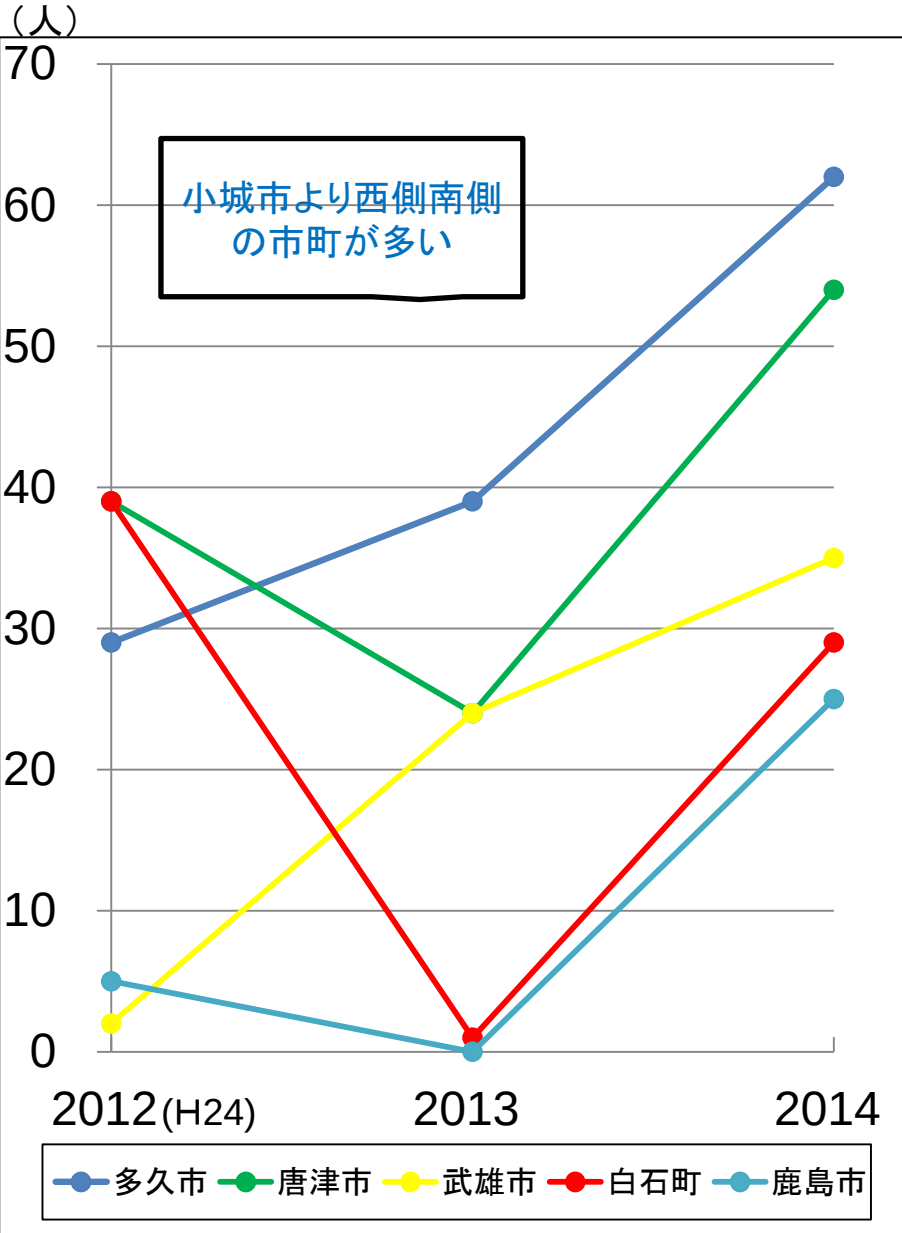
佐賀県小城市 From-to分析(定住人口)2014年

20歳代女性の
転出先、転出数

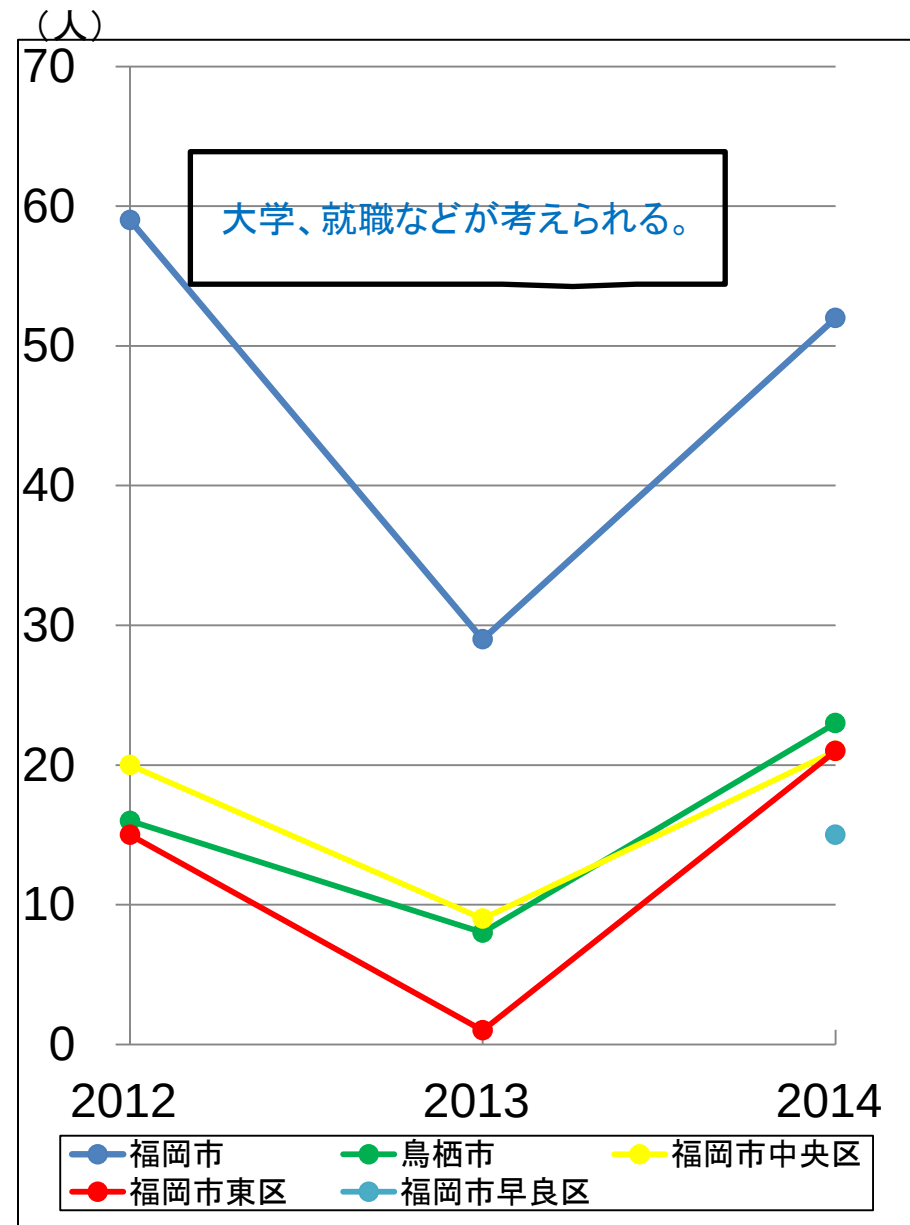


【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

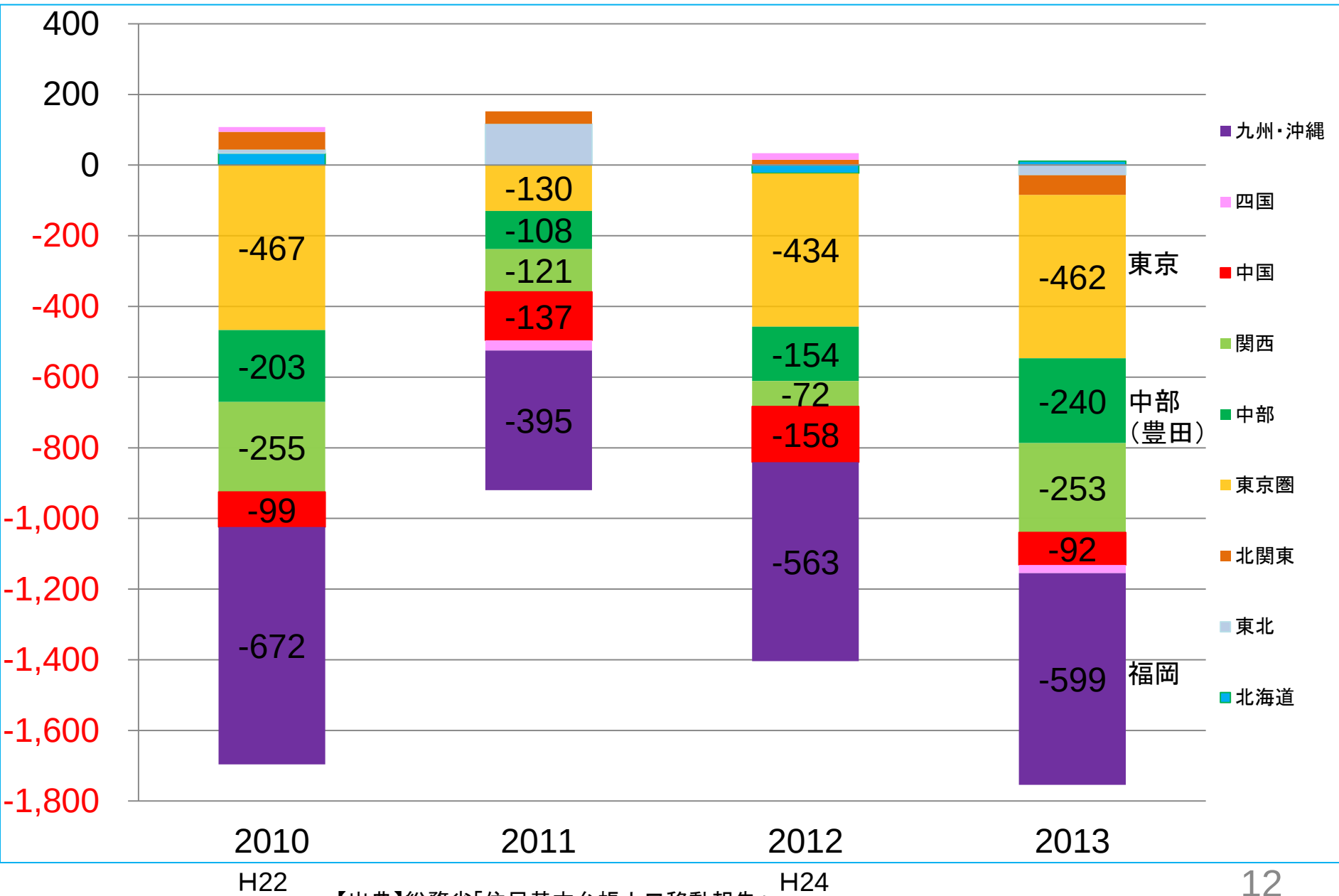
転入超過数上位5地域



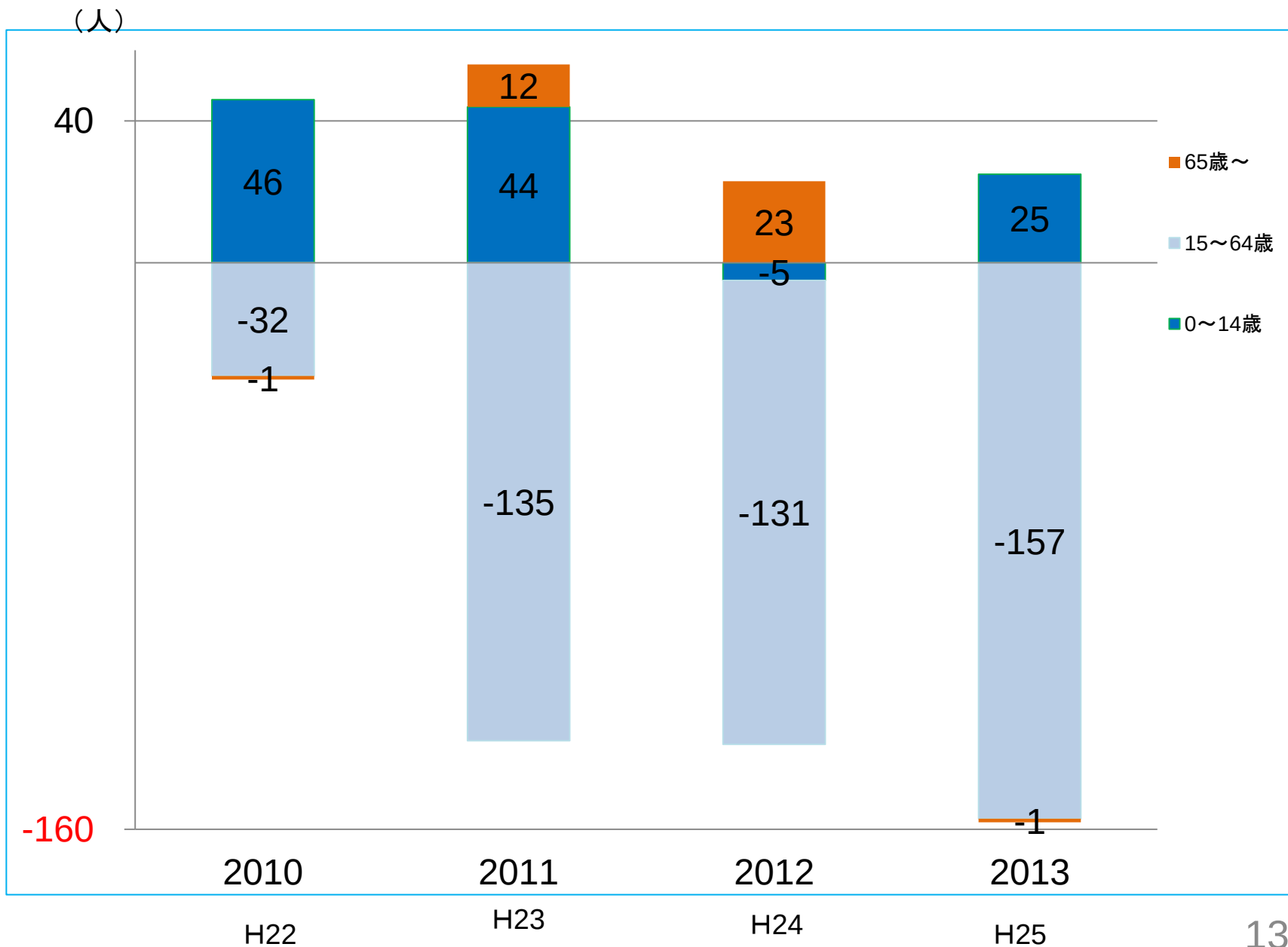
転出超過数上位5地域



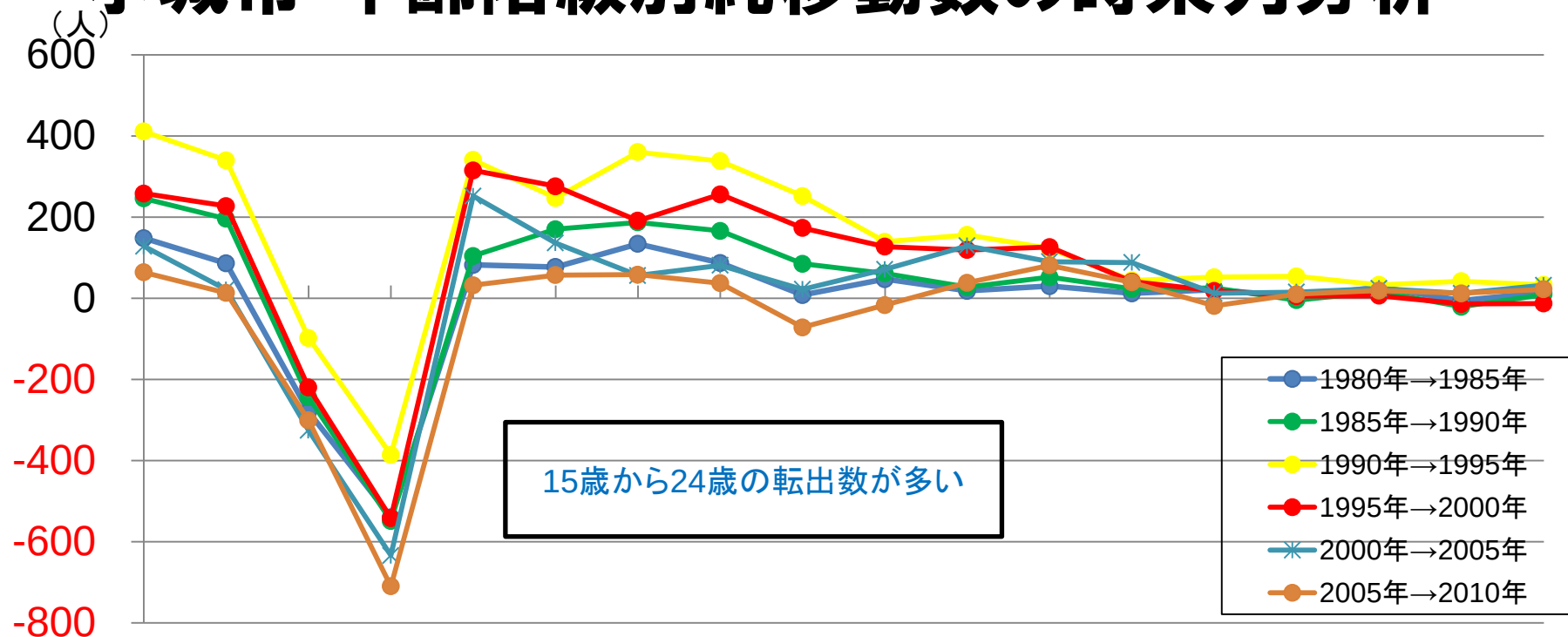
地域ブロック別純移動数



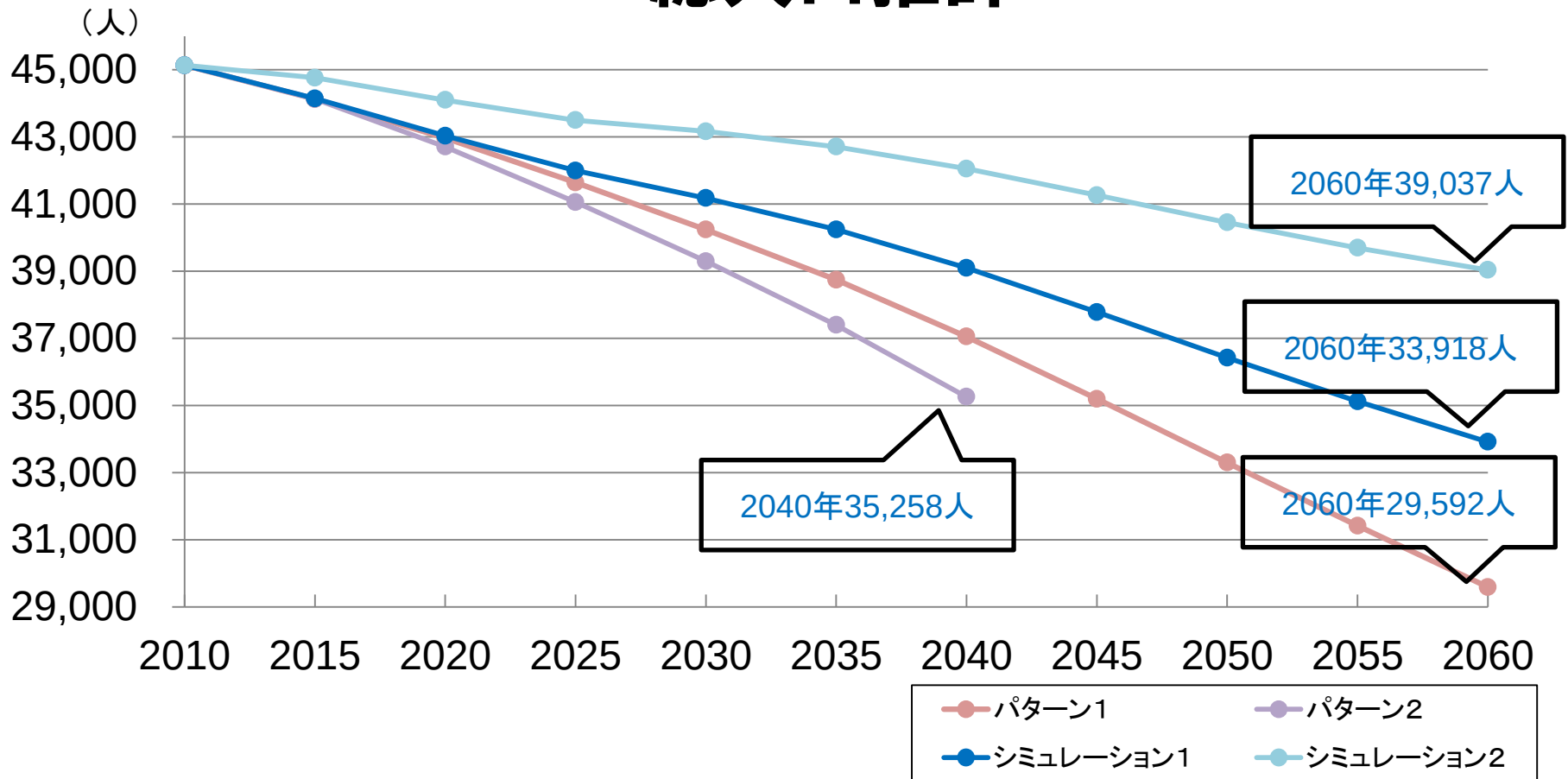
小城市 年齢階級別純移動数



小城市 年齢階級別純移動数の時系列分析



総人口推計



【注記】

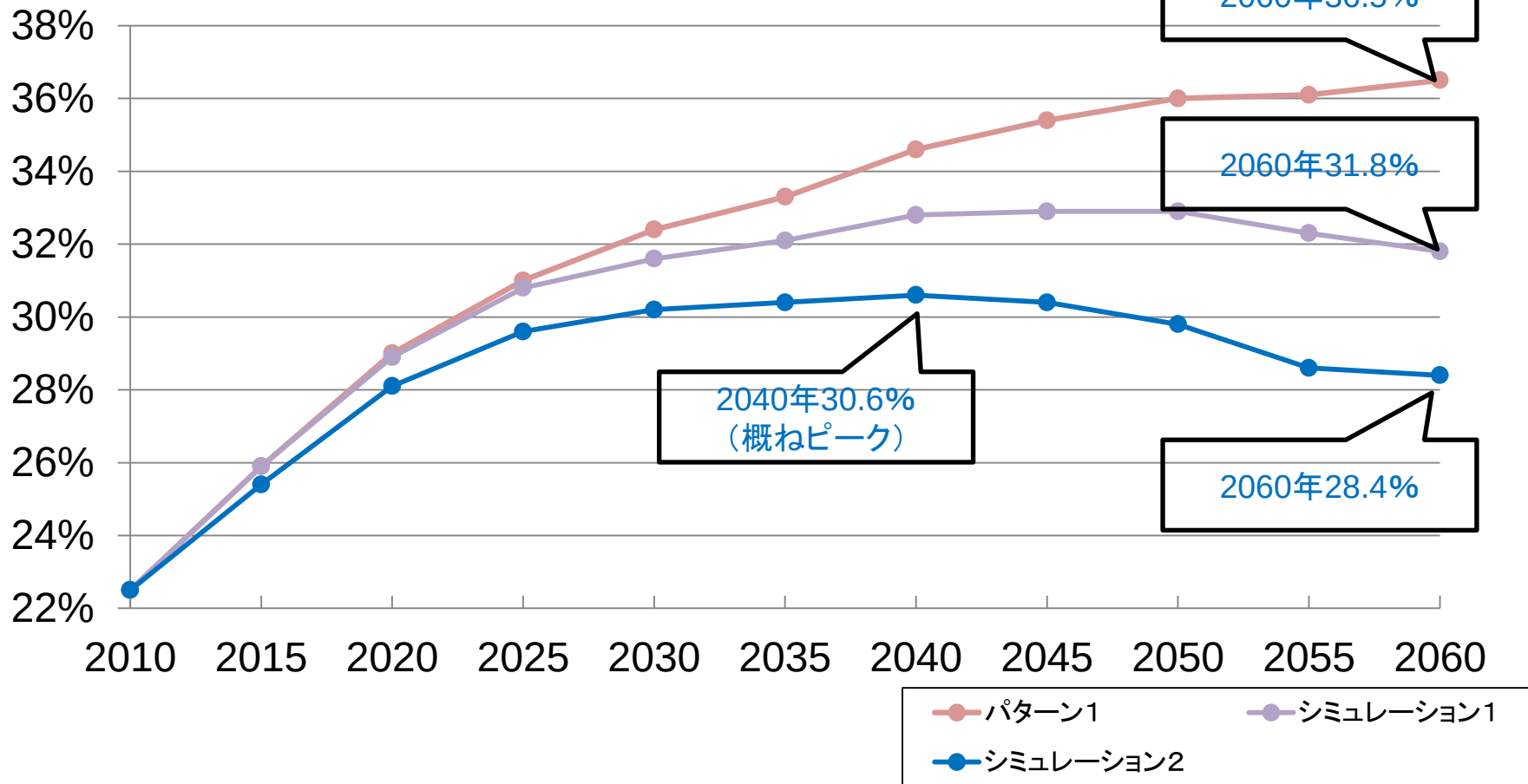
パターン1: 全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計(社人研推計準拠)

パターン2: 全国の総移動数が、平成22年から平成27年の推計値と概ね同水準でそれ以降も推移すると仮定した推計(日本創成会議推計準拠)

シミュレーション1: 合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準の2.1)まで上昇したとした場合のシミュレーション

シミュレーション2: 合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準の2.1)まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした(移動がゼロとなった)場合のシミュレーション。

老年人口比率推移



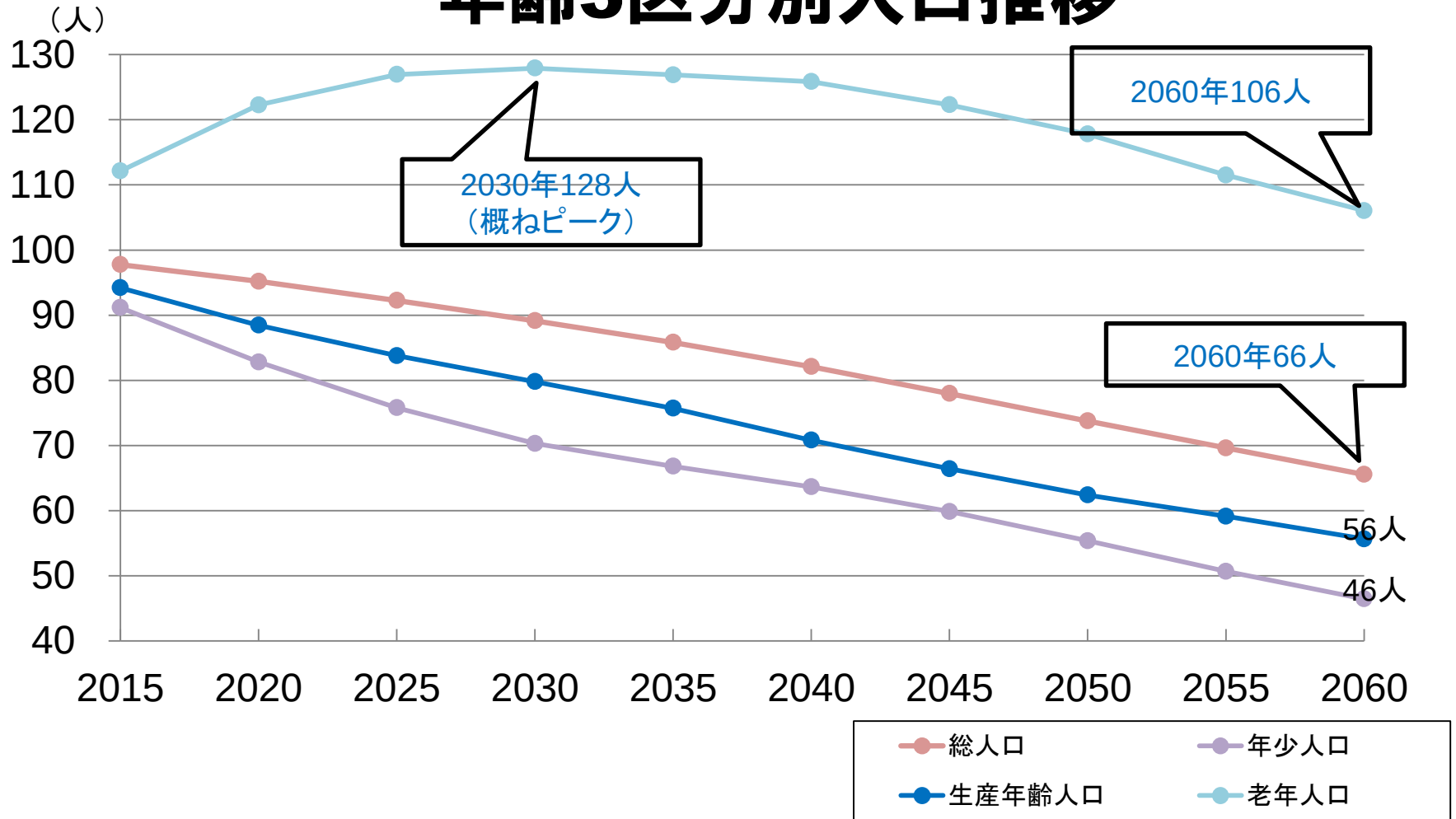
【注記】

パターン1: 全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計(社人研推計準拠)

シミュレーション1: 合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準の2.1)まで上昇したとした場合のシミュレーション

シミュレーション2: 合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準の2.1)まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした(移動がゼロとなった)場合のシミュレーション。

年齢3区分別人口推移



【注記】

2010年の人口を100とし、各年の人口を指数化している。

自然増減と社会増減の影響度(将来)

		自然増減の影響度(2040年)					
		1	2	3	4	5	総計
社会増減 の影響度 (2040年)	1		吉野ヶ里町、 鳥栖市	江北町			3 (15%)
	2		上峰町、武雄 市、伊万里市、 有田町、神崎市	みやき町、佐 賀市、 小城市			8 (40%)
	3			嬉野市、白石 町、唐津市、大 町町、多久市、 鹿島市	基山町		7 (35%)
	4			玄海町、太良 町			2 (10%)
	5						
	総計		7 (35%)	12 (60%)	1 (5%)		20 (100%)